

モビリティ事業

ヤマトグループは、気候変動や労働力不足をはじめとする環境・社会課題に対し、確実なリスク管理を徹底することはもとより、新たな価値を創造する機会としても捉え、ビジネスモデル化を推進しています。これまで自社の脱炭素化や働き方改革を推進する中で蓄積してきた、EVの運用・保守、独自のエネルギーマネジメント、そして社員の健康管理に関する知見や実証データを「グリーン・モビリティ」としてビジネスモデル化しています。

これらの実践的なソリューションを、車両を使用する事業者や地域社会に提供することで、お客様の持続可能な事業運営を支援します。環境価値と社会価値の創出を、当社の新たな収益源となる経済価値へと結びつけ、持続的な企業価値の向上を牽引します。

事業環境とお客様の課題

- 法規制の強化や高齢化を背景とする慢性的なドライバー不足
- 車両価格の高騰や安全管理・法令遵守に伴うコストの増大
- 燃料価格の上昇や、脱炭素化への対応圧力

ヤマトの強み・資本

- 全国規模のEV運用実績と、24時間365日体制の車両整備網
- 独自のエネルギーマネジメントシステムと運行データ活用ノウハウ
- 宅急便ネットワークを支える強固なビジネスパートナー基盤
- 長年の事業運営で培った「安全・品質・法令遵守」の無形資産

価値創造の戦略

アセットとデータの融合による 「環境・社会価値の経済価値化」の加速

自社が蓄積してきたアセットとデータをデジタル技術で融合し、車両を使用する事業者の課題を解決するビジネスモデルを展開。環境・社会課題の解決を当社の新たな収益源へと結びつけ、持続的な企業価値の向上を実現する

課題を解決するソリューション



ヤマトエネルギーマネジメント

自社開発のEMS※と最適調達により電力コストを最小化。再エネの地産地消を推進し、GHG排出量削減に貢献する

※エネルギーマネジメントシステム



EVライフサイクルサービス

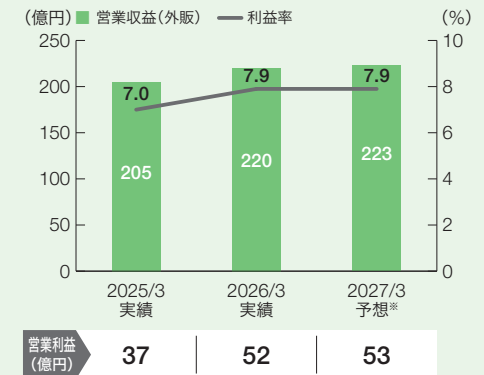
全国の整備網を活用し、EVの導入から保守・運用までをトータルサポート。事業者の脱炭素化を支援する



オンライン医療「MY MEDICA」

不規則な勤務のドライバーにオンライン受診の機会を提供。健康起因の事故リスクを低減し、労働力を守る

業績ハイライト



戦略の進捗

- ヤマトエネルギーマネジメントの早期業績貢献
- 事業開始初年度の連結営業利益への貢献効果 約10億円
うち会社単体の営業利益 5.8億円

※2026年8月3日に開示した予想数値

モビリティ事業：戦略の具現化と提供価値

ヤマトエナジーマネジメント

巨大なグループ需要と高度な需給制御で、エネルギーを「収益源」へ転換

2025年1月に電力の調達と提供を手がけるヤマトエナジーマネジメント株式会社(YEM)を設立し、脱炭素化のボトルネックである「再エネの効率的活用とコスト制御」に本格的に取り組んでいます。

YEMは電力小売事業者として、市場や地域の発電所から直接電力を調達します。さらに、国内最大の発電事業者であるJERAグループとの戦略的提携により、不安定な再エネの「需給調整」と電力調達における「リスクヘッジ」を高度に両立する体制を構築しました。

自社開発のエネルギーマネジメントシステム(EMS)を活用し、拠点内の太陽光発電や蓄電池、EVの充放電をリアルタイムで自動制御することで、電力コストを最小化します。このエネルギー運用モデルを外部事業者へも販売し、グループの新たな利益創出を牽引するとともに、エネルギーの地産地消と地域社会の強靱化(レジリエンス)に貢献します。

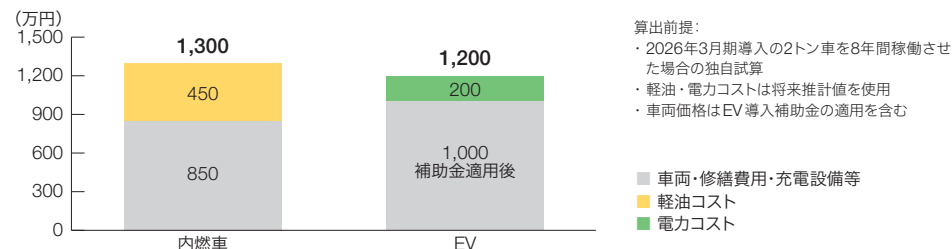
EVライフサイクルサービス

独自の運用ノウハウで、脱炭素化と「車両生涯コスト」の最適化を両立

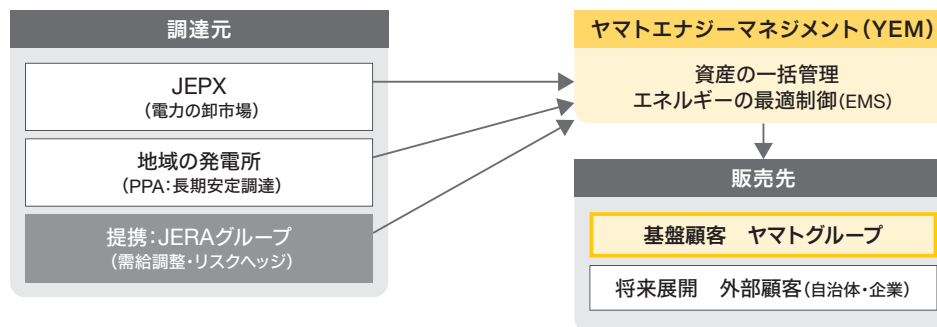
全国約70の車両整備拠点と24時間365日体制のサポート網という当社の強みに、自社約6,000台のEV運用ノウハウを掛け合わせた「EVライフサイクルサービス」を展開しています。

初期費用が課題となるEVですが、補助金の活用に加え、独自の充電制御やヤマトグループの整備網の活用により、内燃車と比較して「車両生涯コスト」の低減が可能です。将来的な炭素規制に伴うコストや、燃料市場の変動に伴う調達リスクを大幅に軽減し、事業者の環境対応と経済性の両立を支援します。

■ 内燃車とEVの車両生涯コスト(8年間)の比較イメージ



財務インパクト	初年度グループ連結営業利益貢献効果:約10億円
	YEM単体:初年度より 営業黒字 を達成



オンライン医療「MY MEDICA」

不規則な勤務のドライバーに寄り添うオンライン医療で、物流業界の「ヒト」を守る

アルフレッサ株式会社との連携のもと、自動車運送事業者向けオンライン医療サービス「MY MEDICA(マイメディカ)」を展開しています。

不規則な勤務体系による通院課題や、健康起因の事故および行政処分のリスクに対し、ドライバーが休憩時間などにスマートフォンで手軽に受診できる環境と、処方薬の配送をワンストップで提供します。

先行した自社グループ内の実証では、再検査受診率が一般的な水準を上回る98%に達しました。この運用ノウハウを外部の事業者に展開し、ドライバーの健康確保と管理者の負担軽減を実現することで、物流・交通インフラの持続可能性を高めます。


社員約17万人の運用知見


再検査受診率 98% 達成
(一般水準 50~75%)